

2022年度PGリーグ大会要綱

- 1, 参加資格 2022年度稲城市サッカー連盟加盟の4種チーム（22年度の3年生以下）
- 2, 競技規則 以下に特に記載の無い場合は、日本サッカー協会『サッカー競技規則2021/22』にて行う。
(JFA発行の「8人制サッカー競技規則」を適用) 退場及び累積警告2枚の者は、次試合1試合を出場停止とする。
これらは試合に出ている選手、控え選手、ベンチにいるスタッフ全てに適用し、本大会中は累積する。
選手は全て登録制とし、追加登録は随時可能(出場試合の当日第1試合招集まで)チームを跨いでの登録は不可。
- 3, 会場 稲城市南多摩スポーツ広場多目的覆蓋グラウンド
(コロナ安定後に行うため、会場が変更になる場合有り)
- 4, 試合時間 30分（15分－5分－15分）前半終了から後半開始のホイッスルの間は5分間とする。
- 5, 試合 2022年度市内大会結果と抽選で1次グループを作り、順位リーグ戦により優勝以下を決定する。
Qgp:青葉O、南山B、SSC55、長峰FC Sgp:若FG、稲城P、青葉G、FC平尾
Rgp:三色魂、青葉W、稲城W、南山R Tgp:プログ、南山W、若FP、梨花FC
①試合は8人制で行う。 試合開始時と試合中に最低6名が出場していること。
試合中の負傷手当などで1次的な6名未満は認める
②試合開始時や試合中に5名以下となった場合、その試合は続行してもよいが、5名以下のチームは不戦敗とする。
③試合が不成立となったときはその試合を「3:0」とし、不戦敗チームの勝ち点は「マイナス1」とみなす。
④リーグ戦の順位については、以下にて決定する。
1,勝ち点(勝ち3,引分け1,負け0) 2,得失点差 3,総得点 4,直接対決の結果 5,本部によるトス
⑤参加チーム数に基づき、Gpリーグ+順位リーグ戦、又はGpリーグ+順位リーグ+順位戦のどちらかで運営する。
- 6, ピッチサイズ (縦:60m×横:40m) を基本とする。
- 7, ボール ボールは4号検定球とし、「0.8気圧」に調整したものを当該チームが持ち寄って主審が決める。
- 8, 会場設営
①会場設営は基本的に第1試合koの90分前から全チームのスタッフで行い、後片付けも全チームで行う。
②会場設営は審判資格者を中心に公式戦と同基準で作成する。前回のラインをなぞる行為で済ますのは不可。
③会場設営終了後、当日の帯同審判員は稲城市サッカー連盟審判部員と共にグラウンドチェックを行う。
④試合数が多い日は対戦表線引きの前半のチームが設営、後半のチームが後片付け。と振分ける場合もある。
- 9, 会場運営
(1)会場運営は当番制とし、組み合わせ表に記載のチームで担当する。
(2)運営当番チームの役割:下記に指定のない場合2チームで分担してもよい。
①A3の対戦表と全試合分の結果報告シート及び全試合分の審判報告書を第1試合運営のチームが用意する。
②空気圧系と空気入れを持参し、用具チェックの際の審判の補助を行う。(全ての運営チーム)
③審判用飲料水(芝の上では【水】のみ)の手配。
④覆蓋Gではメジャーを2本持参(午前・午後と別れた場合は午前の2チームが2本用意する)
⑤当日の試合結果の確認(審判報告書と結果報告書の得点が同じか、得点者の合計得点が結果と一緒か等々)
⑥会場準備と後片付けの確認と、終了後の最終確認(結果報告.忘れ物.駐車場からの撤収.場合によっては施錠)
⑦最終試合の運営チームは当日全ての「報告シート」,「審判報告書」を事務局に提出(ML添付配信でも可)。
⑧最後の運営チームは空の石灰袋を持って帰り処分する(ごみは置いていかない)。

(3)南多摩スポーツ広場（サッカー場、覆盖多目的グラウンド）においては

- ①第一試合開始1時間半少し前に川崎街道入り口(ゲート)を開錠する（少年部）。早過ぎる来場は禁止。
 - ②各チーム車両(応援観戦者含む)は当日指定の台数を守り、指定の駐車証を車両前面に掲示する。
 - ③駐車場係りをチームに振分ける。来場者は『南多摩G案内』を必ず読んで注意事項を理解の上入場する。
 - ④基本はAゾーンに駐車、満車の場合E～Fゾーンへ。スロープ上や階段下など役割によって指定する。
 - ⑤石灰の空袋は最後の当番チームが持って帰り処分する。
 - ⑥石灰は南多摩グラウンドの倉庫から持ってくる。残数が3袋以下の場合は少年部長に連絡する。
- * 芝の上ではヒールが細い靴、固い靴では入場禁止(革靴・ハイヒール等) 車輪の小さいベビーカーも不可。
* 選手・コーチ・他観戦者が会場ルールを守らなかった場合、チームに対し罰則を与えることがあります。
* 本部から見て左側を『Aコート』、右側を『Bコート』とする。

10, 出場選手 選手はベンチ入りした時点で、試合に出なくとも出場とみなす

- ①原則3年生で構成する。チームに3年生が8人以上必要だが、チーム事情により2年生を補充しても良い。
- ②複数チームの場合、2チームエントリーは16名以上、3チームは24名以上の3年生の登録選手がいる事。
- ③大会運営上の理由で本部より依頼された『追加1チーム』の場合は上記条件を緩和する。
- ④追加登録は認めるが1度出場した選手は他チームでは登録できない。
- ⑤選手は全て登録制で追加登録は随時認めるが、当日出場させるためには第1試合前を追加登録期限とする。
- ⑥選手はフェアプレー精神を常に持つこと、クレーム行為を行わない事をチームは指導しなければならない。

11, ベンチ入り

- ①試合の際のベンチ入り選手の人数制限は設けない。スタッフは2名以上5名以内とする。指導者資格は問わない。
- ②全スタッフは指定の「スタッフ証」をカードケースに入れて、会場内では常に首掛け掲示すること。
- ③審判育成の大会でもあり、積極的に経験の少ない審判員を活用するので、試合中のベンチからのジャッジに対するクレームは認めないが、試合後に連盟役員や審判部員へ確認する事は認める。

12, 交代 「自由な交代」とする。 当日の参加選手は、控え選手を含めて全員出場する事を原則とする。

13, 審判 * 稲城市サッカー連盟審判部員が試合前の打ち合わせ、試合後のアドバイスなど行います。

- ①1人審判制（主審・補助審）だが、多くの審判員に経験を積ませる為に、前後半で主審を交代しても良い。
- ②審判育成も大会目標とし、経験の少ない審判員が積極的に審判を受け持つことを優先とする為に、対戦表の割り当てに従わず連盟審判部員が経験の少ない審判員の優先起用を推奨。当該チームの審判も可とする。
- ③試合終了後審判は報告シートに結果を記載し署名する。その後**審判報告書を記載**する。
- ④審判報告書を書き終わったら、連盟審判部員より審判内容についてコメントを受ける。

14, ユニフォーム

- ①FP、GKともに、それぞれH&Aが互いに容易に識別できるもの(色)であること。
- ②公式戦のユニフォーム規定が基準だが、チーム事情で対応が難しい場合は、大会役員や審判部員が確認する。
- ③「全員を試合に出す」ことも目的なので、ユニフォーム規定は柔軟性を持たせるが、最初から背番号無しは不可。
- ④GKのショーツやソックスがFPと同じでも可。アンダーシャツやショーツはチームで統一なら色は問わない。

- 15, 表彰 試合毎にチーム代表者は得点・GK・MVPと**相手チームのMVP**を結果報告シートに記載する。
- ①《チーム》 優勝、準優勝、第3位、敢闘賞と、2部リーグ1位を表彰する。
 - ②《個人賞》 MVPポイントの1位の選手を最優秀選手とする、得点王、ベストGK、チームMVPを表彰する。
 - ③最優秀選手のいるチームは、チーム内ポイント2位の選手がチームMVP選手とする。
 - ④全ての個人賞は試合の都度のポイント加算を大会役員が集計して決定する。
 - ⑤ゲームMVPは自チームと相手チームの2名を選ぶ。相手チームを選んだポイントは1.5倍とする。
 - ⑥全試合終了時に個人賞ポイントが**同点の場合、チームMVPのポイント(自+相)を加算して**1位を決める。
 - ⑦GK出場ポイント記載法：複数のGKが出場したら全てのGK選手名を記載する。(1分でも出たら出場)
 - ⑧GK出場ポイント計算法：出場GK1名なら(1点)、2名なら(0.5点ずつ)、3名なら(0.33点ずつ)時間は不問。
 - ⑨**GKファインプレーポイント：相手GK選手で優秀なプレーが見られた時だけ「追加ポイント1.0」を与える**
 - ⑩チームMVPは常に「自チームポイント1.0」と「相手チームからのポイント1.5」を加算して決める。
 - ⑪個人賞にMVPポイントを加算しても同点だった場合は、PK方式の【個人賞決定戦】を行う。

16, 参加費 1チームにつき 4000円 大会初日に徴収

17, その他

- ①疑義が生じた場合は本部に提起し、大会役員と当該及び当日の出場チーム間で確認を行う。
- ②来年度の公式戦(ブロック大会)に備え、審判・指導者・選手それぞれがルールを理解するための大会とするため、各チームの指導者・審判員は積極的に参加すること。

18, コロナ対策 下記のルールは、市や体育協会のコロナ対応が変更された場合、修正もしくは破棄する場合があります。

- ①低学年大会なので、無観客での開催が必須の状況では開催せず、最低限の保護者の観戦を可能とする。
- ②会場を「試合会場」と「管理区域」に分け、試合会場には選手とチーム5名以内のID掲示のスタッフと審判・役員のみ入場可能とする。管理区域には選手とスタッフの他、選手1名につき保護者2名(目安)が入場して観戦できる。但し保護者の付添いが必要な乳幼児や児童の人数は対象外とするが、幼児や児童が試合会場に入らぬよう管理する。
- ③選手・スタッフ・観戦者・付添いの乳幼児児童及び役員や審判部員含め全来場者は、必ず過去2週間の体温記載の健康チェックシートを持参して、チーム責任者の確認を受けなければならない。
- ④全ての来場者は各チーム管理のもと「来場者名簿」に氏名と当日の体温を記載して、チームとして入場時に検温を実施し、手指の消毒をすること。※名簿は各チームで管理すること。後日提出の可能性あり。
- ⑤チームは石鹸・消毒液・体温計を持参し、常に除菌を心掛けチーム関係者の体調を管理すること。
- ⑥来場者に対しては**マスク着用を強要しない**。但し、観戦者の声援やベンチ指導者の大声での指示、2m以内の距離での会話を行う場合はマスク着用を必須とする。選手は用具チェック時から試合の間は交代要員含めマスクを着用しない。同様に競技のフィールド内の審判員もマスクを着用しない。
- ⑦他者と距離は1m以上、大声禁止、握手・ハイタッチ等接触禁止、入退場時の本部への挨拶も禁止。
- ⑧コロナ対策以上に熱中症など、より生命の危険度が高い方を詰めに優先する。